

2019年3月期 第2四半期 決算実績 概況資料

2018年11月8日

株式会社西武ホールディングス（9024）

<http://www.seibuholdings.co.jp/>

I. エグゼクティブ・サマリー

P2

II. 2019年3月期 第2四半期の主な取り組み

P6

III. セグメント情報及び営業指標

P8

IV. 決算実績詳細

P21

V. 2019年3月期 連結業績予想

P25

2019年3月期 第2四半期 決算実績

(金額単位：億円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)	2019/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)
営業収益	2,663	2,832	+169 +6.3%	2,826	+6 +0.2%
営業利益	378	420	+42 +11.2%	394	+26 +6.8%
償却前営業利益*	626	684	+57 +9.2%	655	+29 +4.4%
経常利益	331	382	+50 +15.2%	348	+34 +9.8%
親会社株主に帰属する四半期純利益	232	259	+26 +11.5%	262	△2 △0.9%

※償却前営業利益は、営業利益に減価償却費及びのれん償却額を加えて算定しております。

決算実績ポイント

■ 営業収益

ホテル業においてRevPARの上昇やMICEが堅調に推移したこと、東京ガーデンテラス紀尾井町における賃料収入の増加のほか、西武ライオンズの観客動員数が増加したこと、ハワイ事業におけるホテルのRevPAR上昇などにより増収

▶ 3ページ

■ 営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する四半期純利益 増収による増益

▶ 4・21・22ページ

<西武鉄道・鉄道業>

運輸収入 前年同期比+0.8% (定期+1.0%、定期外+0.6%)

▶ 9ページ

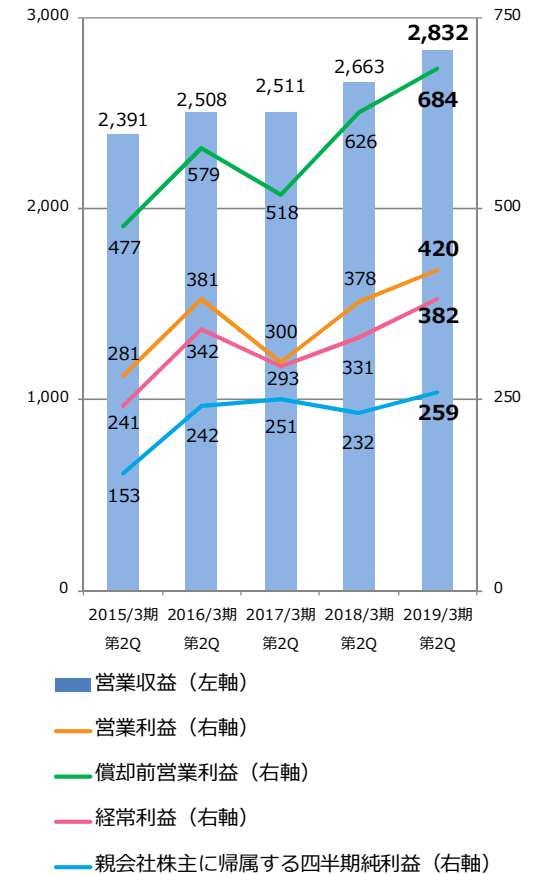
<ホテル業>

RevPAR 12,576円 (前年同期比+7.1%)
シティ13,362円 (同+8.5%)、リゾート10,958円 (同+3.6%)

▶ 11ページ

業績の推移

(金額単位：億円)



セグメント別営業収益

(金額単位：億円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		2019/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	817	822	+5	+0.7%	826	△3	△0.4%	鉄道業において雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催や野球観客動員数の増加、グランエミオ所沢I期の開業、有料座席指定列車「拝島ライナー」の導入などにより定期・定期外ともに旅客運輸収入が増加したことや、バス業が好調に推移したことにより増収。対予想では、鉄道業において台風等天候不良の影響を受けたことなどにより減収。
ホテル・レジャー事業	1,015	1,097	+81	+8.0%	1,108	△10	△1.0%	ホテル業におけるRevPARの上昇、MICEの堅調な推移、StayWell社の連結子会社などにより増収。対予想では、都内のホテルが好調に推移したものの、リゾートホテルやゴルフ場、横浜・八景島シーパラダイスが度重なる自然災害や猛暑の影響を受けたことなどにより減収。
不動産事業	295	326	+30	+10.4%	314	+12	+4.0%	東京ガーデンテラス紀尾井町の賃料収入増加などにより増収。対予想では、軽井沢・プリンスショッピングプラザの好調や、土地の販売などにより増収。
建設事業	473	482	+8	+1.8%	475	+7	+1.5%	建築工事やリノベーション工事が増加したことなどにより増収。対予想では、大型のリノベーション工事があったことなどにより増収。
ハワイ事業	79	94	+15	+19.2%	95	△0	△0.9%	ハプナビーチプリンスホテルの改装による営業規模縮小や、キラウエア火山の噴火の影響があったものの、プリンスワイキキ、マウナケアビーチホテルにおいて平均販売室料・客室稼働率ともに上昇したことにより増収。
その他	239	259	+19	+8.4%	248	+11	+4.5%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景に観客動員数が増加したほか、選手関連グッズの販売が好調に推移したことなどにより増収。
調整額	△256	△249	+7	—	△240	△9	—	
連結数値	2,663	2,832	+169	+6.3%	2,826	+6	+0.2%	

セグメント別営業利益・償却前営業利益

■ 営業利益

(金額単位：億円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		2019/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	173	160	△ 13	△ 7.6%	164	△ 3	△ 2.1%	鉄道業・バス業において運輸収入が増加したものの、電気動力費や燃料費、修繕費、一般管理費などの費用が増加したことにより減益。対予想では、鉄道業において台風等天候不良の影響を受けたことなどにより減益。
ホテル・レジャー事業	88	103	+15	+17.2%	101	+2	+2.9%	将来の成長に資する費用（戦略的な人員の増加、新規事業関連の費用等）、水道光熱費、減価償却費などが増加したものの、増収により増益。対予想では費用削減により増益。
不動産事業	76	105	+28	+37.9%	94	+11	+11.9%	増収による増益。
建設事業	23	21	△ 2	△ 9.5%	14	+7	+51.4%	前年同期に利益率の高い土木工事があったことなどにより減益。対予想では、増収に加え利益率が想定を上回ったことにより増益。
ハワイ事業	△ 7	△ 4	+2	—	△ 3	△ 1	—	増収により損益が改善。対予想では、キラウエア火山の噴火の影響があったことなどにより減益。
その他	24	30	+5	+20.6%	21	+9	+43.4%	増収による増益。
調整額	△ 1	4	+5	—	3	+1	+47.4%	
連結数値	378	420	+42	+11.2%	394	+26	+6.8%	

■ 償却前営業利益

(金額単位：億円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		2019/3期 第2Q予想	対予想 (増減額・率)		摘要
都市交通・沿線事業	278	265	△ 12	△ 4.6%	269	△ 3	△ 1.1%	
ホテル・レジャー事業	162	184	+21	+13.1%	181	+3	+1.8%	
不動産事業	121	156	+34	+28.1%	143	+13	+9.1%	
建設事業	25	23	△ 2	△ 8.2%	16	+7	+44.8%	
ハワイ事業	2	7	+4	+189.2%	9	△ 1	△ 16.4%	
その他	38	44	+5	+15.1%	36	+8	+24.4%	
調整額	△ 4	2	+6	—	1	+1	+134.1%	
連結数値	626	684	+57	+9.2%	655	+29	+4.4%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2019年3月期 第2四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2019年3月期 連結業績予想 P25

2019年3月期 第2四半期の主な取り組み

全体

- ・従業員の活躍支援を目的とし「西武グループ 企業内保育所」を開設（2018年11月1日）
- ・新規事業分野の創出に向け、VCファンドへ出資を実施（2018年7月27日）

都市交通・沿線事業

- ・多摩川線多磨駅橋上駅舎化及び自由通路整備を実施（2021年3月期完了予定）
- ・西武新宿駅・飯能駅のリニューアル工事を実施（2019年3月完了予定）
- ・「西武フィットネス emifit 鷺ノ宮」開業（2018年4月7日）
- ・音のバリアフリー化に向けた取組みとして「ミラリスピーカー®」を導入（2018年7月9日）
- ・新井薬師前駅でホーム隙間転落検知システムの実証実験を実施（2018年7月21日）
- ・大手民鉄（11社）で各社人材の相互受入スキーム「民鉄キャリアトレイン」を立ち上げ

ホテル・レジャー事業

- ・会員制ホテル事業「プリンス バケーション クラブ」開業決定（2019年7月開業予定）
「プリンス バケーション クラブ ヴィラ軽井沢浅間」「プリンス バケーション クラブ 軽井沢浅間」「プリンス バケーション クラブ 三養荘」
- ・「軽井沢プリンスホテル ウェスト」にて大宴会場とレストランのリニューアル、客室棟の新設（2020年6月より順次開業予定）
- ・「グランドプリンスホテル新高輪」にてクラブラウンジの移設とスイートルームの増設（2018年12月より順次開業予定）
- ・「品川プリンスホテル アネックスタワー」にて一部客室とロビーのリニューアル（2019年夏リニューアル予定）
- ・StayWell Holdings Pty Ltdが海外で展開するラグジュアリーブランド「The Prince AKATOKI」を創設
- ・StayWell Holdings Pty Ltdが「Park Regis Arion」をインドネシア・ジャカルタ、「Park Regis Aveda」を南インドに開業

不動産事業

- ・「（仮称）西武鉄道池袋ビル（池袋旧本社ビル建替え計画）」の建物名称を「ダイヤゲート池袋」に決定（2019年春開業予定）
- ・分譲マンション「アンヴィーネ 保谷」販売開始

ハワイ事業

- ・プリンス ワイキキが世界最大級の旅行口コミサイト「トリップアドバイザー」にて、「2018年エクセレンス認証」を受賞
- ・ハプナビーチプリンスホテルの全面改装完了。ウェスティンブランドに加盟し、ホテル名称を「ウェスティン ハプナ ビーチ リゾート」として営業開始（2018年6月26日）

その他

- ・埼玉西武ライオンズが10年ぶり22回目のパシフィック・リーグ優勝
- ・メットライフドームエリア ボールパーク化に向けて工事を推進（2021年春完了予定）
- ・箱根芦ノ湖で水陸両用バス「NINJABUS WATER SPIDER」運航開始（2018年4月27日）

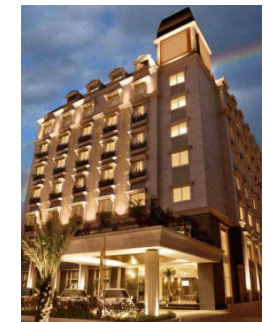
2018年11月8日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.



飯能駅リニューアル イメージ



プリンス バケーション クラブ
三養荘 客室イメージ



Park Regis Arion 外観



埼玉西武ライオンズ

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2019年3月期 第2四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2019年3月期 連結業績予想 P25

都市交通・沿線事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	81,711	82,251	+539	+0.7%	
鉄道業	53,122	53,174	+51	+0.1%	雇用情勢の堅調な推移やメットライフドームでのイベント開催や野球観客動員数の増加、グランエミオ所沢 I 期の開業、有料座席指定列車「拝島ライナー」の導入などにより定期・定期外ともに旅客運輸収入が増加したことにより増収
バス業	13,044	13,381	+337	+2.6%	路線バスが好調に推移し増収
沿線レジャー業	11,684	11,893	+209	+1.8%	としまえんにおいて夏季の入場者数が増加したことなどにより増収
その他	3,859	3,801	△58	△1.5%	
営業利益	17,362	16,050	△1,311	△7.6%	鉄道業・バス業において運輸収入が増加したものの、電気動力費や燃料費、修繕費、一般管理費などの費用が増加したことにより減益
償却前営業利益	27,888	26,594	△1,293	△4.6%	

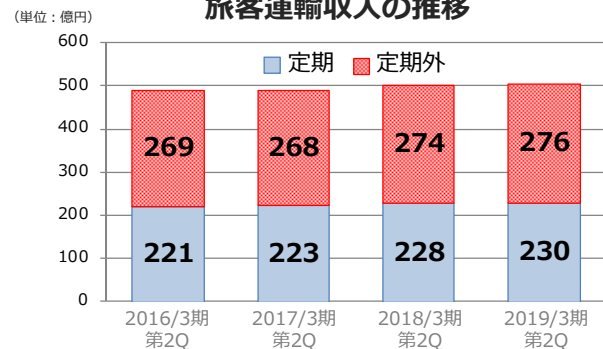
都市交通・沿線事業 鉄道業の運輸成績

輸送人員・旅客運輸収入（西武鉄道株式会社）

（人員単位：千人、金額単位：百万円）

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2018/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第2Q	対前年同期 増減率
輸送人員	定期	203,985	+1.2%	210,579	+2.0%	212,759	+1.0%
	定期外	122,446	△ 0.3%	124,025	+1.5%	124,653	+0.5%
	計	326,432	+0.6%	334,605	+1.8%	337,412	+0.8%
旅客運輸 収入	定期	22,128	+1.2%	22,860	+2.1%	23,091	+1.0%
	定期外	26,938	△ 0.3%	27,449	+2.3%	27,619	+0.6%
	計	49,066	+0.3%	50,309	+2.2%	50,711	+0.8%
運輸雑収	2,082	1,989	△ 4.4%	1,993	+0.2%	1,986	△ 0.3%
収入合計	51,148	51,223	+0.1%	52,303	+2.1%	52,698	+0.8%

旅客運輸収入の推移



2018年 11月8日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

■ 定期

雇用情勢の堅調な推移により増加

■ 定期外

メットライフドームでのイベント開催や野球観客動員数の増加、グランエミオ所沢 I 期の開業、有料座席指定列車「拝島ライナー」の導入などにより増加

ホテル・レジャー事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	101,563	109,724	+8,161	+8.0%	
ホテル業（シティ）	57,486	62,483	+4,996	+8.7%	RevPARの上昇、食堂部門やMICEの堅調な推移などにより増収
ホテル業（リゾート）	20,773	21,865	+1,091	+5.3%	自然災害によるキャンセル等の影響があったものの、前期に改装による営業休止をしていた事業所の収益寄与や、RevPARの上昇などにより増収
ゴルフ場業	7,700	7,594	△ 105	△ 1.4%	自然災害や猛暑の影響により減収
その他	15,602	17,781	+2,179	+14.0%	StayWell社の連結子会社化などにより増収
営業利益	8,870	10,397	+1,526	+17.2%	将来の成長に資する費用（戦略的な人員の増加、新規事業関連の費用等）、水道光熱費、減価償却
償却前営業利益	16,295	18,424	+2,128	+13.1%	費などが増加したものの、増収により増益

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

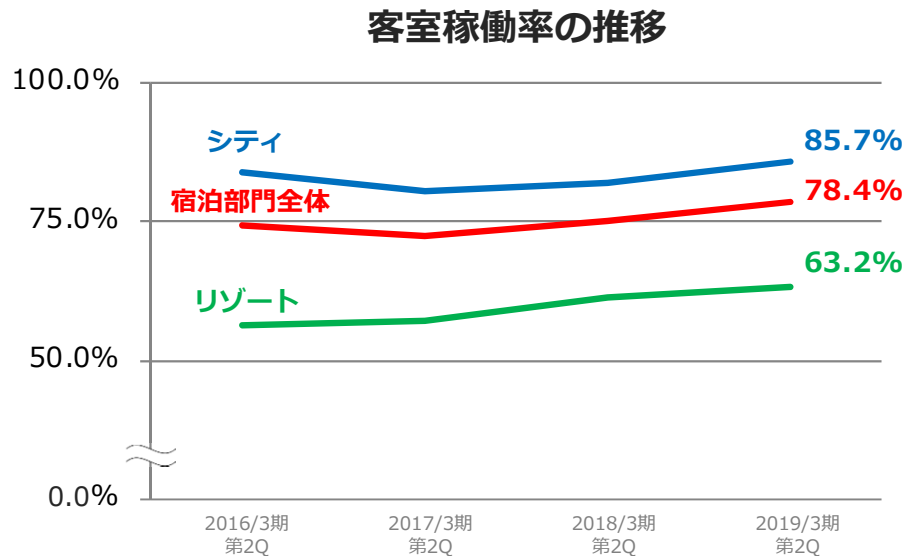
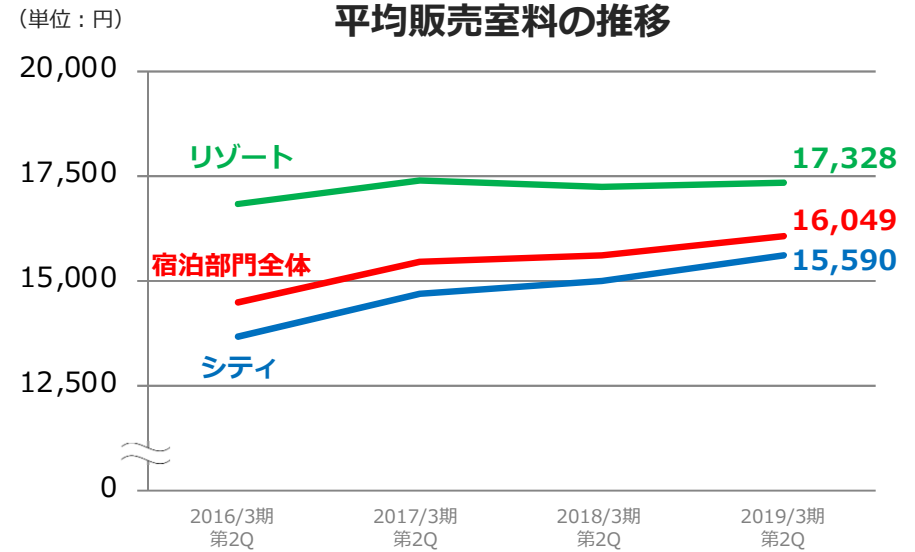
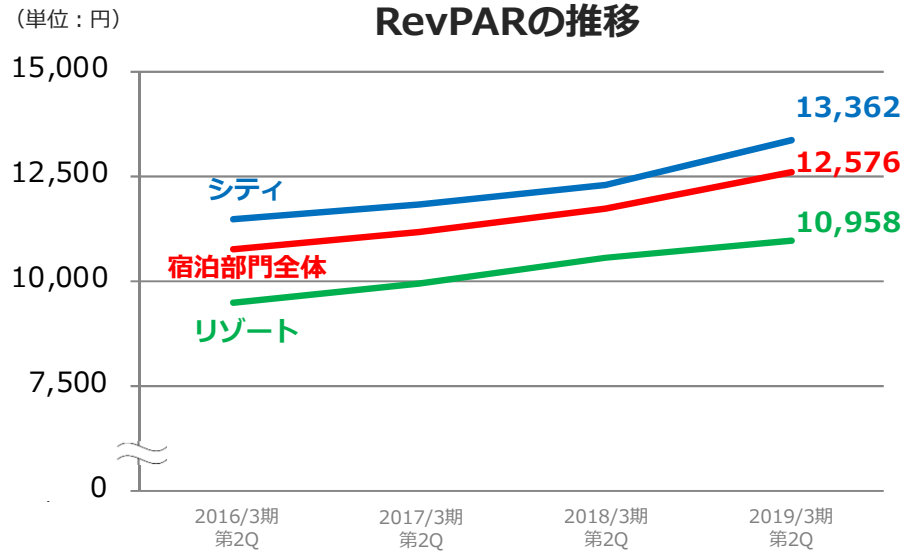
ホテル業の営業指標（株式会社プリンスホテル）

（RevPAR・平均販売室料：円）

		2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2018/3期 第2Q	対前年同期 増減率	2019/3期 第2Q	対前年同期 増減率
RevPAR	シティ	11,452	11,845	+3.4%	12,310	+3.9%	13,362	+8.5%
	高輪・品川エリア	12,119	12,825	+5.8%	12,684	△ 1.1%	13,652	+7.6%
	リゾート	9,502	9,953	+4.8%	10,576	+6.3%	10,958	+3.6%
	軽井沢エリア	22,184	22,060	△ 0.6%	24,108	+9.3%	23,107	△ 4.2%
	宿泊部門全体	10,784	11,171	+3.6%	11,744	+5.1%	12,576	+7.1%
平均販売室料	シティ	13,653	14,689	+7.6%	15,007	+2.2%	15,590	+3.9%
	高輪・品川エリア	13,839	14,718	+6.3%	14,765	+0.3%	15,094	+2.2%
	リゾート	16,821	17,415	+3.5%	17,246	△ 1.0%	17,328	+0.5%
	軽井沢エリア	34,645	34,041	△ 1.7%	34,869	+2.4%	32,021	△ 8.2%
	宿泊部門全体	14,476	15,456	+6.8%	15,602	+0.9%	16,049	+2.9%
客室稼働率	シティ	83.9%	80.6%	△ 3.2pt	82.0%	+1.4pt	85.7%	+3.7pt
	高輪・品川エリア	87.6%	87.1%	△ 0.4pt	85.9%	△ 1.2pt	90.4%	+4.5pt
	リゾート	56.5%	57.2%	+0.7pt	61.3%	+4.2pt	63.2%	+1.9pt
	軽井沢エリア	64.0%	64.8%	+0.8pt	69.1%	+4.3pt	72.2%	+3.0pt
	宿泊部門全体	74.5%	72.3%	△ 2.2pt	75.3%	+3.0pt	78.4%	+3.1pt

（注）高輪・品川エリア：ザ・プリンス さくらタワー東京、グランドプリンスホテル高輪、グランドプリンスホテル新高輪、品川プリンスホテル
 軽井沢エリア：ザ・プリンス 軽井沢、ザ・プリンス ヴィラ軽井沢、軽井沢プリンスホテル

ホテル・レジャー事業 営業指標の推移

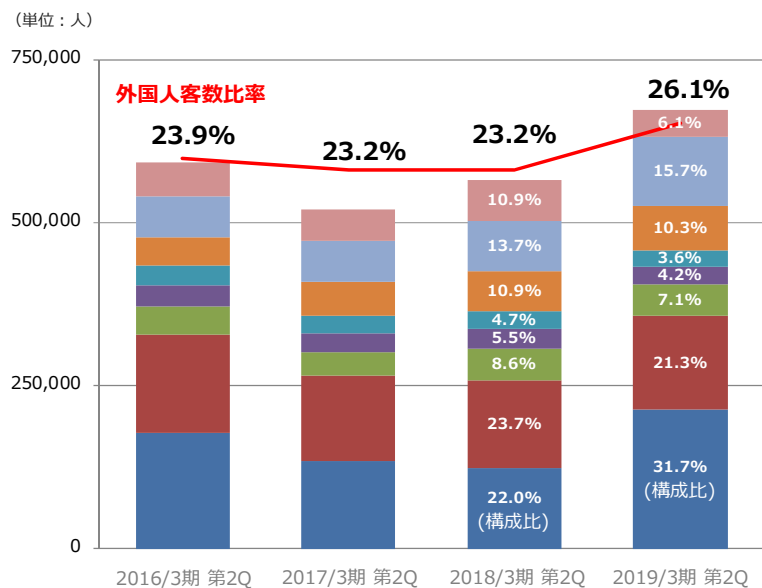


ホテル・レジャー事業 インバウンドの動向 (宿泊客数・室料収入)

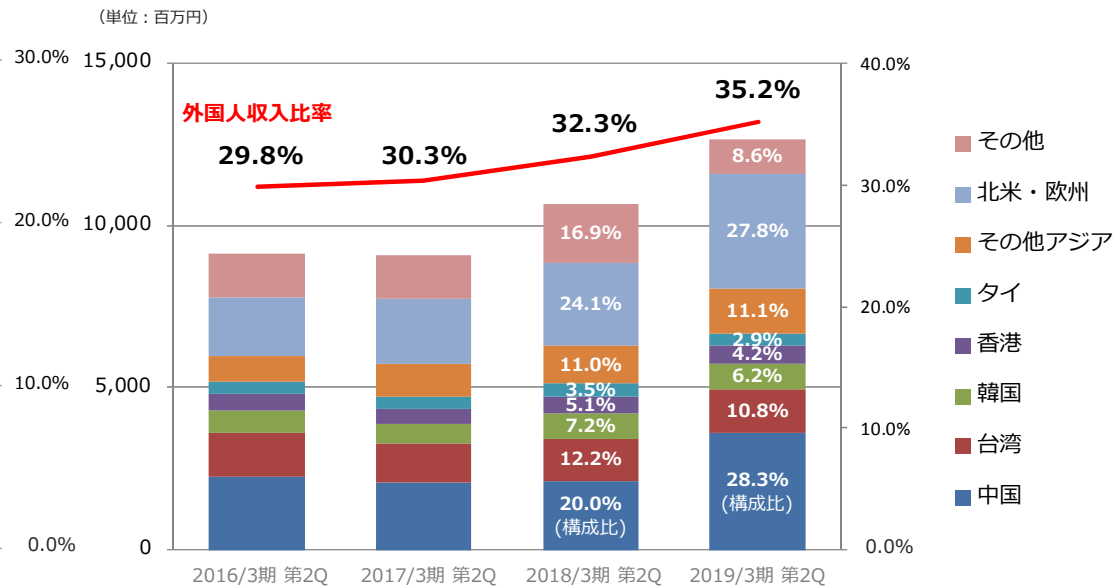
(人員単位：人、金額単位：百万円)

		2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期	2019/3期 第2Q	対前年同期
宿泊客数 の内訳	邦人客	1,883,695	1,725,178	△ 158,517	1,870,130	+144,952	1,907,013	+36,883
	外国人客	592,436	520,656	△ 71,780	564,278	+43,622	672,492	+108,214
	計	2,476,131	2,245,834	△ 230,297	2,434,408	+188,574	2,579,505	+145,097
室料収入	外国人客	9,132	9,060	△ 72	10,658	+1,597	12,672	+2,014

外国人宿泊客数・比率

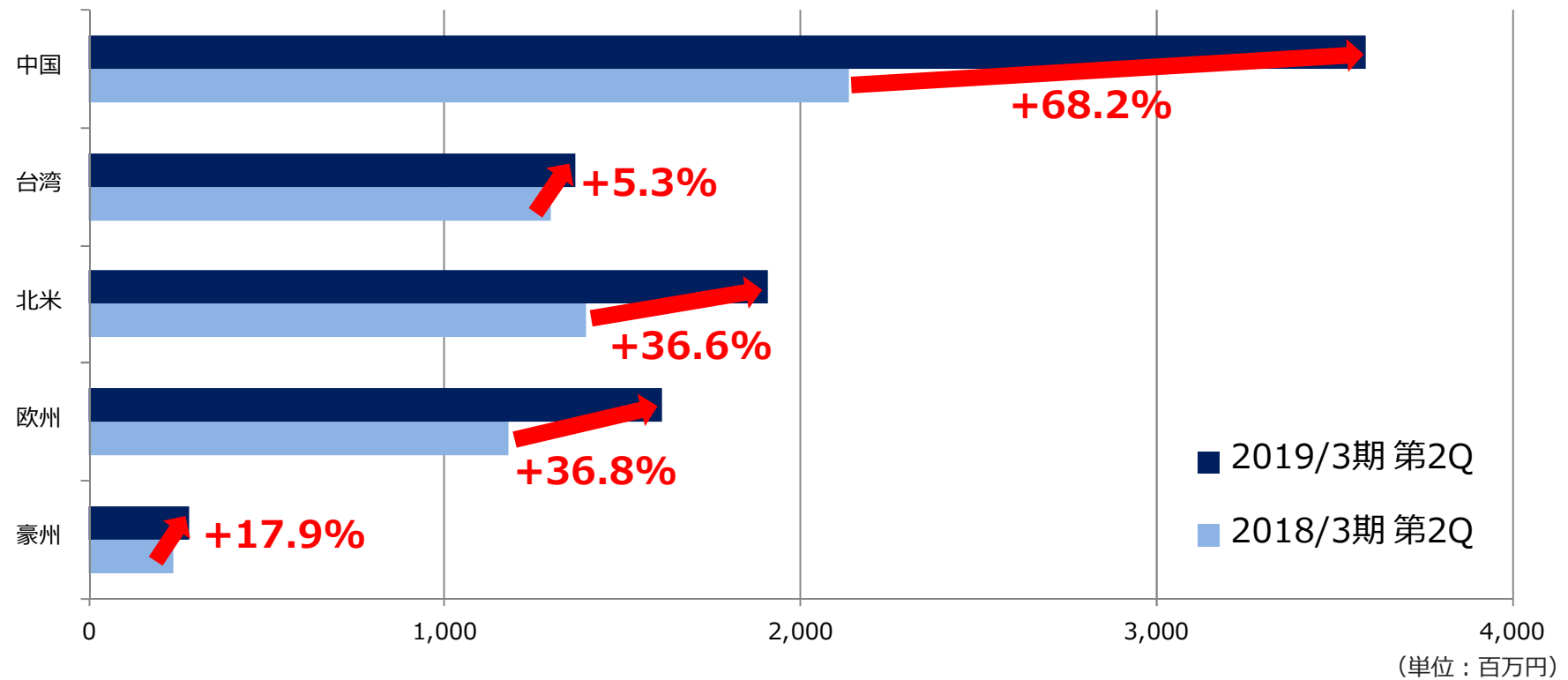


外国人室料収入・比率



ホテル・レジャー事業 マーケットチェンジの状況

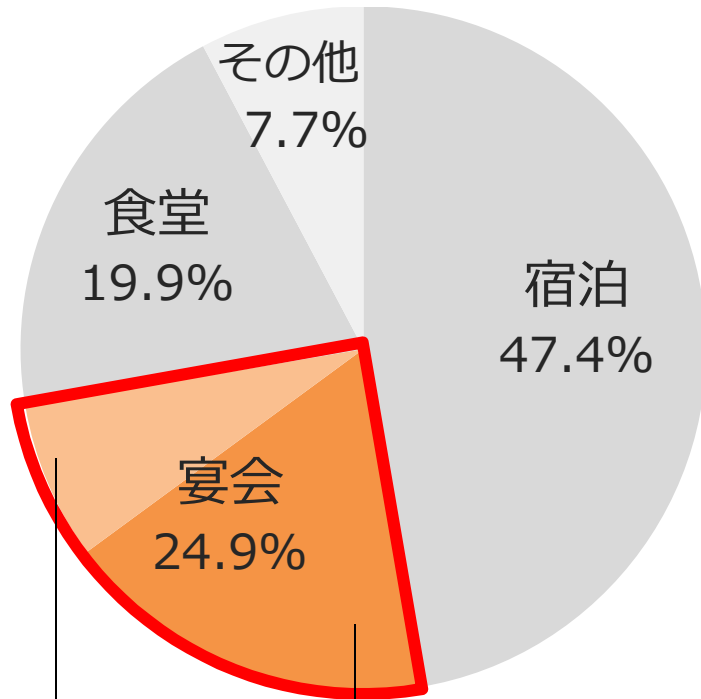
■ 主な国・地域の外国人室料収入



北米、欧州、豪州など、より単価の高い地域の増加に加え、予約のベースとなる中国などのアジアマーケットも獲得

ホテル・レジャー事業 MICEの状況

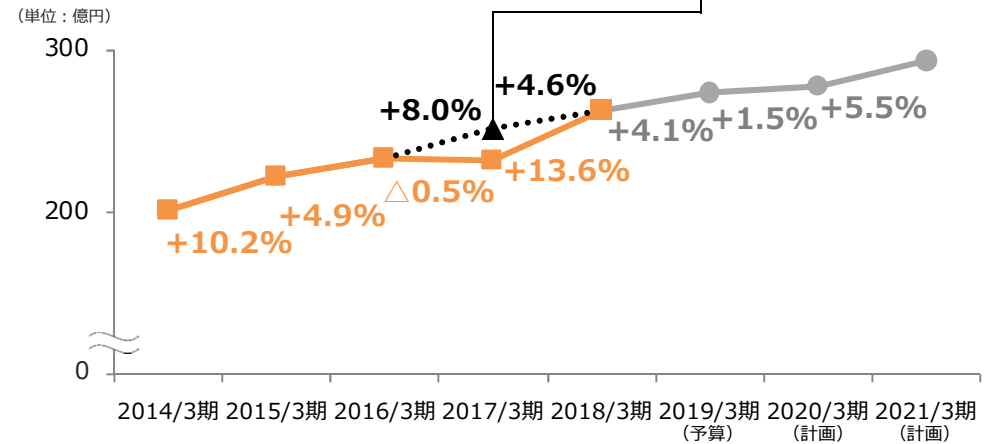
■ ホテル業の売上高構成比 (2019年3月期第2Q)



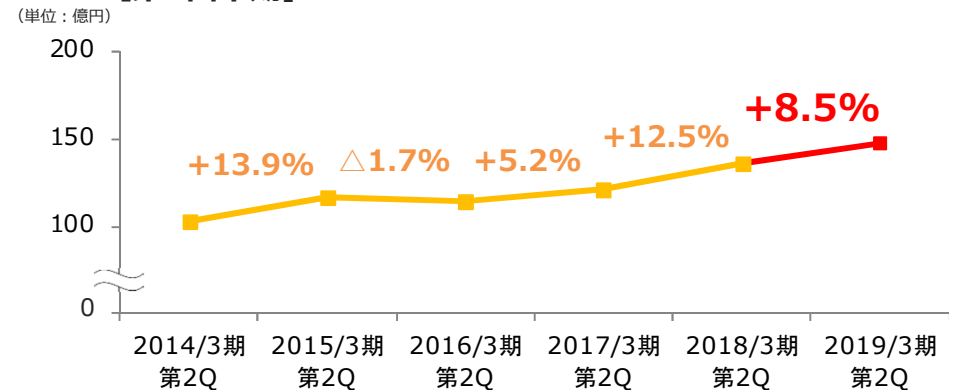
ブライダル・
その他宴会 7.4% — **MICE 17.5%**

■ MICE売上高の推移

【通期】



【第2四半期】



MICE売上高は増加トレンドが継続。企業のミーティングやセミナー、インセンティブ（社内表彰）の需要を着実に取込み、計画を上回って進捗

不動産事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	29,575	32,665	+3,090	+10.4%	
不動産賃貸業	20,139	23,538	+3,399	+16.9%	東京ガーデンテラス紀尾井町の賃料収入増加などにより増収
その他	9,436	9,126	△309	△3.3%	前年同期に西武立川駅前での住宅販売があったことなどにより減収
営業利益	7,631	10,521	+2,890	+37.9%	増収による増益
償却前営業利益	12,185	15,606	+3,420	+28.1%	

(面積：千㎡)

		2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期	2019/3期 第2Q	対前年同期
建物賃貸物件	商業施設	231	237	+5	237	+0	243	+6
の期末貸付面積	オフィス・住宅	58	160	+102	170	+10	173	+3
建物賃貸物件	商業施設	2.2%	1.1%	△1.1pt	0.7%	△0.4pt	1.2%	+0.5pt
の期末空室率	オフィス・住宅	15.0%	2.0%	△13.0pt	0.8%	△1.2pt	0.9%	+0.1pt

(注) 土地の賃貸は含んでおりません

2018年11月8日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

建設事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	47,359	48,230	+870	+1.8%	
建設業	35,314	35,323	+8	+0.0%	土木工事や民間住宅工事が減少したものの、建築工事やリノベーション工事が増加したことなどにより前年同期比横ばい
その他	12,044	12,906	+861	+7.2%	造園請負工事の増加などにより増収
営業利益	2,341	2,119	△ 222	△ 9.5%	前年同期に利益率の高い土木工事があったことなどにより減益
償却前営業利益	2,525	2,317	△ 207	△ 8.2%	

建設業の受注高の状況

(金額単位：百万円)

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期	2019/3期 第2Q	対前年同期
期首繰越高	84,335	99,069	+14,733	89,755	△ 9,313	100,542	+10,787
期中受注高	42,406	40,812	△ 1,594	46,103	+5,290	34,642	△ 11,460
期末繰越高	95,621	105,340	+9,718	100,660	△ 4,679	100,045	△ 615

ハワイ事業 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	7,901	9,419	+1,518	+19.2%	ハプナビーチプリンスホテルの改装による営業規模縮小や、キラウエア火山の噴火の影響があったものの、プリンス ワイキキ、マウナケアビーチホテルにおいて平均販売室料・客室稼働率ともに上昇したことにより増収
営業利益	△ 765	△ 467	+298	—	増収により損益が改善
償却前営業利益	260	752	+492	+189.2%	

ホテルの営業指標

	2016/3期 第2Q	2017/3期 第2Q	対前年同期	2018/3期 第2Q	対前年同期	2019/3期 第2Q	対前年同期
RevPAR (円)	21,104	19,369	△ 1,735	18,999	△ 370	26,081	+7,082
RevPAR (米ドル)	176.16	176.08	△ 0.08	180.95	+4.87	226.79	+45.84
平均販売室料 (円)	28,940	27,302	△ 1,638	30,218	+2,916	36,546	+6,328
平均販売室料 (米ドル)	241.57	248.20	+6.63	287.79	+39.59	317.79	+30.00
客室稼働率	72.9%	70.9%	△ 2.0pt	62.9%	△ 8.0pt	71.4%	+8.5pt

2018年 11月8日 Copyright © SEIBU HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

その他 概況

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期 (増減額・率)		摘要
営業収益	23,908	25,904	+1,996	+8.4%	西武ライオンズにおいて各種営業施策の実施や好調なチーム成績を背景に観客動員数が増加したほか、選手関連グッズの販売が好調に推移したことなどにより増収
営業利益	2,496	3,010	+513	+20.6%	増収による増益
償却前営業利益	3,889	4,477	+588	+15.1%	

I. エグゼクティブ・サマリー P2

II. 2019年3月期 第2四半期の主な取り組み P6

III. セグメント情報及び営業指標 P8

IV. 決算実績詳細 P21

V. 2019年3月期 連結業績予想 P25

連結損益計算書サマリー

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期	摘要
営業収益	266,335	283,240	+16,904	都市交通・沿線：+5億円、ホテル・レジャー：+81億円、 不動産：+30億円、建設：+8億円、ハワイ：+15億円、 その他：+19億円
営業利益	37,835	42,073	+4,238	都市交通・沿線：△13億円、ホテル・レジャー：+15億円、 不動産：+28億円、建設：△2億円、ハワイ：+2億円、 その他：+5億円
営業外収益	1,200	1,680	+480	
営業外費用	5,871	5,547	△324	
経常利益	33,165	38,207	+5,042	
特別利益	968	315	△652	受取補償金 △7億円
特別損失	1,290	2,378	+1,088	当期：投資有価証券評価損 10億円
税金等調整前四半期純利益	32,842	36,144	+3,301	
法人税等	9,174	9,764	+589	
四半期純利益	23,668	26,380	+2,712	
非支配株主に帰属する四半期純利益	392	427	+34	
親会社株主に帰属する四半期純利益	23,275	25,953	+2,677	

営業外・特別損益

(金額単位：百万円)

	2018/3期 第2Q	2019/3期 第2Q	対前年同期	摘要
営業利益	37,835	42,073	+4,238	
営業外収益	1,200	1,680	+480	
受取利息・配当金	480	535	+55	
バス路線運行維持費補助金	230	256	+25	
為替差益	33	390	+356	
その他営業外収益	456	498	+42	
営業外費用	5,871	5,547	△324	
支払利息	5,384	5,127	△257	
持分法による投資損失	34	36	+1	
その他営業外費用	452	383	△68	
経常利益	33,165	38,207	+5,042	
特別利益	968	315	△652	
固定資産売却益	13	159	+146	
工事負担金等受入額	91	6	△85	
補助金収入	118	65	△53	
受取補償金	744	39	△705	
その他特別利益	0	44	+44	
特別損失	1,290	2,378	+1,088	
減損損失	51	96	+44	
固定資産売却損	91	311	+220	
固定資産除却損	913	865	△47	
工事負担金等圧縮額	82	6	△76	
固定資産圧縮損	105	50	△54	
投資有価証券評価損	—	1,003	+1,003	
その他特別損失	45	44	△1	
税金等調整前四半期純利益	32,842	36,144	+3,301	

連結貸借対照表サマリー

(金額単位：百万円)

	2018/3期 期末	2019/3期 2Q末	対前期	摘要
資産 合計	1,669,223	1,663,467	△ 5,755	
流動資産	112,414	114,314	+1,900	受取手形及び売掛金 +4,953 未成工事支出金 +2,896 現金及び預金 △5,412
固定資産	1,556,808	1,549,153	△ 7,655	有形・無形固定資産 △8,938 繰延税金資産 △2,633 投資有価証券 +4,169
負債 合計	1,274,275	1,246,003	△ 28,271	
流動負債	328,782	310,245	△ 18,537	支払手形及び買掛金 △3,096 その他 △26,461 (設備投資未払金等の減少) 前受金 +10,252
固定負債	945,493	935,758	△ 9,734	長期借入金 △7,270 鉄道・運輸機構長期未払金 △2,561
純資産 合計	394,947	417,464	+22,516	利益剰余金 +22,335 その他有価証券評価差額金 +3,451 退職給付に係る調整累計額 △2,026 為替換算調整勘定 △2,023
有利子負債 期末残高	905,091	895,484	△ 9,606	
ネット有利子負債	875,147	870,953	△ 4,193	

(注) 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産(固定資産)の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。2018年3月期末の数値については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっております。

I. エグゼクティブ・サマリー	P2
II. 2019年3月期 第2四半期の主な取り組み	P6
III. セグメント情報及び営業指標	P8
IV. 決算実績詳細	P21
V. 2019年3月期 連結業績予想	P25

2019年3月期 連結業績予想 (期初予想と変更はございません)

(金額単位：億円)

	連結		都市交通・沿線事業		ホテル・レジャー事業		不動産事業		建設事業		ハワイ事業		その他		調整額	
		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期		対前期
営業収益	5,699	+ 7.4%	1,633	+ 0.8%	2,218	+ 8.3%	673	+ 8.0%	1,095	+ 9.5%	211	+ 37.2%	396	+ 0.4%	△ 527	-
営業利益	670	+ 4.3%	260	△ 4.6%	199	+ 15.0%	170	+ 7.5%	46	△ 3.2%	0	-	0	△ 100.0%	△ 5	-
償却前営業利益	1,209	+ 4.6%	477	△ 2.8%	362	+ 10.6%	270	+ 7.7%	51	△ 1.0%	27	-	31	△ 21.7%	△ 9	-
経常利益	581	+ 4.7%														
親会社株主に帰属する 当期純利益	436	+ 1.6%														

(注) 連結業績予想につきましては、発表日現在で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。